

インターバンクの声（2016 年 9 月 20 日）

9 月 2 日の米雇用統計発表前までは、複数の米連邦準備制度理事会 (FRB) 高官から相次いで利上げに前向きな発言があったこともあり、市場も 9 月の利上げの可能性を強く意識する局面もあった。しかし、その後は、別の高官から利上げに慎重な姿勢が示され、9 月の利上げは見送られるとの見方が大勢を占めるようになっている。製造業景況指数や小売売上などいくつかの経済指標が予想以上に悪化したことも、そうした見方をより強めてきた。弱い小売売上の発表があった翌日 (16 日) に発表された 8 月の米消費者物価指数が市場予想を上回る内容だったこともあり、週末の円相場が 101 円台後半から 102 円台中盤まで円売りが進んだが、週明けの昨日 (19 日) は結局 101 円台に逆戻りしている。消費者物価指数が良かっただけでは、もはや連邦公開市場委員会 (FOMC) での利上げ見送りは確実だとの見方は変わらないようだ。市場の焦点は日銀の追加金融緩和の施策内容と FOMC の声明、そしてイエレン FRB 議長の会見内容になって来た。

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。